

ニコニコ箱・米山奨学金・ロータリー財団報告

今日も元気で楽しい例会に出席できました。感謝、感謝。
(宮崎茂和)

【ポリオ2億ドルチャレンジ】
とにかくチャレンジしてみます。(片岡正明)

藤井 裕 各君

寄付金の状況

	4月28日分	累計
ニコニコ箱	27,000円	2,100,000円
米山奨学金	19,000円	1,151,680円
ロータリー財団	8,000円	709,385円

ありがとうございました。

ビジター受付

- 5月16日(月) 敦賀西
- 5月23日(月) 福井東
※福井東RC事務局にてビジター受付
- 5月24日(火) 福井南
- 5月24日(火) 勝山
- 5月25日(水) 福井北(休会ビジター受付なし)
- 5月30日(月) 敦賀西

次回の例会

2011年5月19日
福井県立美術館 学芸員 佐々木美帆氏
会場：ユアーズホテルフクイ
開会点鐘12時30分

ニコニコ箱

豊橋RCの紳佳之です。本日はお世話になります。宜しくお願い致します。(豊橋RC 紳 佳之様)
マーク卓話ありがとう。福井ロータリーへの入会をお待ちしています。(平野洋一)
マーク卓話ありがとうございました。真後ろから見てますが、渡邊さんとマークの後頭部の形がおんなじだったので面白かったです。(石丸敦士)
欠席が続きました。ゴメンナサイ!! (上田信雄)
福井JC・この会25周年記念に夫婦8組で南座の歌舞伎を楽しみました。(片岡正明)
マークの卓話楽しみです。(清水正一)
欠席が多く申し訳ありません。(末廣 聡)
マークさん、卓話ありがとうございます。(竹中章浩)
4月24日のはぐるま会ゴルフで優勝しました。(土屋良武)

マークさん、卓話ありがとうございます。昼間のマークをはじめて見ました。(藤本潤一)
マークさん、卓話ありがとうございます。(渡邊義信)
【誕生祝】浮田啓三、山田和徳
各君

米山奨学特別寄付金

油谷啓司、木瀬雅博、後藤太郎、坂本 篤、吉岡正巳、新しい米山奨学生をお迎えして。玉木さん宜しく!! (片岡正明)
木瀬さんの隣に座らせていただきました。(品谷義雄)
周さん、福井のことを世界にPRしてください。よろしく!! (嶋田泰嗣)
米山奨学生の周さんを宜しくお祈りします。(玉木 洋)
吉岡委員長、大分RC60周年の写真をありがとうございます。(渡邊義信)
各君

ロータリー財団増進特別寄付金

増田善宏、

福井ロータリークラブ会報

R.I DISTRICT 2650
ROTARY CLUB of FUKUI
2010-2011
WEEKLY BULLETIN

2011年5月12日
第2040号(2196)

2010-2011 RIテーマ: 「地域を育み、大陸をつなぐ」



R.I 会長
レイ・クリンギンスミス
R.I 第2650地区ガバナー
栗田 幸雄

理事・役員	
会長(理事)	藤井 健夫
副会長(理事)	北島 恬
直前会長(理事)	加藤 一二
幹事	平野 洋一
副幹事	木村 憲一
副幹事	渡邊 義信
会計	大森 正男
副会計	市橋加奈子
S.A.A	山内鴻之祐
副 S.A.A	嶋田 泰嗣
副 S.A.A	清水 正一
(監事)	片岡 正明
(監事)	小酒井好信
(理事)クラブ奉仕担当	玉 木 洋
(理事)職業奉仕担当	山 本 宝
(理事)社会奉仕担当	野 村 直之
(理事)国際奉仕担当	清 水 嗣能
(理事)新世代担当	加 藤 幹夫

本日の例会 2011年5月12日 第2991回

12時30分 開会点鐘・会長挨拶・幹事報告
◆栄誉行事
5月度誕生祝/
石森哲夫、宮本数男、高橋 薫、山本 宝、野尻章博、伊井彌州雄、後藤太郎、栗本充由、竹原和行、加藤信一、森川圭造、松田範幸、岩下春幸、 各君
5月度皆出席祝/
北島 恬君(27年)
米山奨学表彰/
伊井彌州雄君(米山功労者第1回)
◆卓話 宮崎茂和会員
演題『レイテミッションの報告』

13時30分 閉会点鐘

今後の予定

- 5月19日(木) 例会
ゲスト卓話
- 5月26日(木) 例会
会員卓話
- 6月2日(木) 理事役員会・例会
会員卓話
- 6月9日(木) 例会
ゲスト卓話

福井ロータリークラブ60年の歴史



今年福井ロータリークラブは設立60周年を迎えます。そこで会報で、60年の歴史を写真とともに振り返りたいと思います。今回は、2006年3月19日、足羽川清掃活動の写真です。

例会報告 2011年4月28日 第2990回 例会

● 現在会員	117名	● メークアップ	
● 出席者	63名	清水則明 (4/10 地区)、清水慶造 (4/16 地区)、伊藤彰 (4/17 地区)、伊藤彰	
● 今回例会出席率	54.78%	(4/17 地区大会)、宮崎茂和 (4/7 地区)、石橋正人 (5/6 福井西)、酒井哲夫 (5/6	
● 届出欠席者	45名	福井西)	各君
● 無届欠席者	9名		
● 前回例会修正出席率	70.69%		

会長挨拶



会長 藤井 健夫

今日は、交通混雑の様子です。連休前の最後のビジネスデイで、皆さん走り回っているのかなと思います。

遠方からのお客さまがおられます。豊橋RCから榊佳之氏、理学博士、国立豊橋技術科学大学学長で、本日当ホテルで学長会議があり御来駕となりました。次のお客さまは、卓話者ネセラ・マーク氏です。外国語とビジネスのコンサルをなさっており、牧師でもあると伺います。紹介者は、渡邊義信会員で後ほど詳しくお話があります。最後のお客さまは、新しい米山奨学生の周夢瑶(シウ・ム・ヨウ)さんです。「コウセイショウ」ご出身とお聞きし、ミャンマーに近い広西省と思ひ込んでお話ししましたが、中原の江西省南昌市のご出身が正しく、江西省は江蘇浙江に続く経済大発展地域でありますから、謹んで訂正いたします。周さんは、福井大学客員教授でもある当クラブ玉木会員のお弟子さんとお聞きします。後ほど玉木さんから詳しいご紹介があります。

最後の話ですが、東日本大震災に関わる原電の件です。昨日テレビニュースを見ておりましたら、私と同期であった裁判官で、日本で唯一原電の運転禁止判決を出した方が出演しておりました。福島第1原電の今日の姿を予見し、放射性物質が漏れることもありうるとして、金沢地裁にて石川志賀原電の運転禁止を判決したと報じられていました。しかし、私は、この考えに反対です。漏れることがある、そういう危険のあるものは使わせないということになると、電気もガスもそうだし、およそ近代文明の利器は必ず危険を包蔵しております。形あるものはいつか壊れ、動くものは他と衝突し、飛んでいるものは落ちる危険を有しています。危険だから一切使わせないというのでは文明進歩も何もあったものではありません。前記金沢地裁判決も上級審で破られています。問題は、危険をいかに回避予防し、しかも万一危険が現実化したときはそれをいかに押さえ込む技術を持っているかです。この点、放射性物質が致命的なレベルで原子炉から外に出ることはありえない、ありえないことの対策は考える必要がないとしていた従来の原子力技術のあり方にも疑義を呈します。今の福島第1の姿は、万一の事故を押さえ込む技術が完全でなかったことを遺憾なく露呈しているものと思います。

例会



◆米山奨学生カウンセラー 玉木 洋会員

この4月からこの当クラブでお世話することになりました米山奨学生の周夢瑶(シウ・ム・ヨウ)さんについてご紹介いたします。私福井大学で講座をやっております。その時になんて優秀な中国人がいるんだろうと、頭脳で日本を制圧できるのではないだろうかと思うくらい素晴らしい人がいて、彼女が米山奨学生を受けると聞いて、福井RCに来てくれればいいなと思っていたら、そのように清水さんがうまく取り計らってくれました。彼女は福井大学の工学研究科の機械工学専攻しています。生まれは中国江西省の南昌出身です。皆様一年間お世話頂きますよう宜しくお願いいたします。



◆米山奨学生 周夢瑶(シウ・ム・ヨウ)さん

皆さん、こんにちは。福井大学大学院工学研究科機械工学専攻の2年生です。中国の江西省南昌市から来ました。私の特徴はニコニコしているところです。今日の天気はあまりよくありませんが、皆さんにお会いできてうれしいので心は晴れています。ロータリー家族の一員になれてとっても幸せです。これから皆様の期待に応えられるように頑張っていきますのでどうぞ宜しくお願いいたします。

2011年4月から2012年3月まで、皆様宜しくお願いいたします。

幹事報告

- ①本日、3週連続の最後の義援金ランチです。先週の義援金ランチが大変好評でこのまま義援金ランチでいいのではないかという意見もございましたが、ユアーズホテルさんに御負担をかけるわけにもいかないのでこれで最後となります。宜しくお願いいたします。
- ②ゴールデンウィーク事務局の休業について、4/29～5/5まで休局となり、期間中の例会は休会です。5/6からは通常通りです。
- ③福島県いわき平中央ロータリークラブからお手紙が届きました。内容は、福島県いわき市というだけで全てが原子力発電所からの放射性物質に汚染されているという風評被害で、復興への大きな妨げになっております。そこで原子力被害状況への冷静な御判断の基、ご家族、お知り合いに適切な行動を促していただきたいと思います。

卓話



◆「私から見たおもてなし」

ネセラ・マーク

皆さん、こんにちは。生まれはドイツ、1999年福井にやってきました。今日は、接客態度とおもてなしについてお話させていただきます。

まず、大切なことは第一印象です。お客様と接するスタッフは皆、一人一人が最前線に立ち「情報」をお客様に与えているのです。顧客はある意味で「探偵」なのです。顧客には組織と情報をやりとりした体験があり、意識的あるいは無意識にその経験から記憶に残っている「情報」をふるいにかけます。お客様はその「情報」を根拠に、印象を、時には分別ある印象、しかし多くは第一印象として整理します。それはめったに忘れられることはありません。

顧客は、実はこの細部にわたる配慮に、無意識ではありますが、気がついていきます。スターバックスのテーブルが丸いのは、顧客が一人の場合は四角いテーブルよりも丸い方が心地良いと感じる心理学上の調査結果があるからです。

情報は3つに分けることができます。

- ・機能的情報：サービスの技術的な質、その機能性
- ・機械的情報：見えるもの、におい、聞こえるもの、味わえるもの、手で触れるものなどの物質的な物
- ・人間的情報：言葉、身振り仕草、話し方、熱意、服装など、サービス

世界市場において、産業界のリーダー達は、他に勝る細部にわたる注意を払い、顧客の期待を超えたサービスを提供してきました。またメイヨークリニックの様に優れた組織の経営者は、職員が持てる能力を遺憾なく発揮しているのか、それとも不十分か、という鍵となる問いかけをします。なぜなら、組織としての生産物が職員のパフォーマンスである場合は特に重要となるからです。世界的に成功をおさめている企業の品質管理ツールを採用し、現場スタッフの問題解決をサポートしていま

す。「バウンダリレスネス(境界のない状態)」を目標としています。「バウンダリレスネス」とは、ジェネラル・エレクトリック(GE)の前CEOであるジャック・ウェルチが創った言葉です。その概念は、連携すること、積極的に多様な視点を求めること、臨機応変にグループをつくることへの人為的の障壁を取り壊し、自由な組織をつくることを表しています。通常の仕事の枠外の関係作りを促進するため、チームは部門間を横断しています。

組織が常に直面している課題の一つは、良くあることなのですが、サービス提供するものがやる気を失い、自発的な努力をしなくなることです。その結果として、他者に勝っていた組織が衰退し始めます。ここで言う、自発的な努力の定義とは、サービスの役割を果たすために従業員が出せる最大のエネルギーと、リスクを回避するのに必要な最小限度のエネルギーの差です。その差が自発的行動なのです。真に卓越したサービスを提供している組織は、他の大多数の組織にまして、従業員のやる気を確保しており、その社員のさらなる努力が組織の卓越した企業貢献するのです。

サービスとは、人が実行するパフォーマンスです。顧客の視点から見れば、サービスを実行する人の集まりが会社です。言い換えれば、銀行窓口係が不注意であれば、その銀行は不注意だと見なされるのです。ソニーの創業者である盛田昭夫氏は、経営に関して次のように述べています。「『日本』で一番成功している会社は、運命を共有しているという気持ちを全従業員に浸透させることに成功している会社です…結局はあなたの事業とその成功は、あなたが雇う人の手の中にあるのです。もっと劇的に表現すれば、あなたの事業の運命は、一番若い新入社員の掌中にあるということです。」



青少年交換学生

報告

2010-11年度交換学生としてアメリカのアスペン市へ派遣されている黒原未理さんが、現地オーケストラとの協演者コンペティションで優勝したという記事が5月7日(土)の日刊県民福井に掲載されました。

黒原さんは、小学5年生でマリimbaを始め、アスペンハイスクールでは、ジャズバンドでドラムを担当するなど、積極的に音楽と関わってきました。今回協演したのは、コロラド州南部で構成されたオーケストラ「シンフォニーインザバリー」です。同オーケストラは、毎年ジュニア(6～18歳)と、シニア(19～30歳)の2部門のコンペティションで選ばれた地域の若手音楽家に、コラボレーションの機会を与えています。黒原さんはこのうちジュニア部門で優勝して出場が決まりました。コンサートは、7、8の両日、コロラド州内高校で開催されたそうです。

